

(1)シダのなかま

解説

シダのなかまは体は卵形をしています。第2触角が太くて長いために、顕微鏡で観察したときにしばしば横向きでなく、腹側から見る場合があります。パンザイをしたような形で、ずいぶんちがって見えるので注意が必要です。写真は、横向きです。

特徴

頭部が大きく、また腕のように見える第2触角が太くて長いのが特徴です。

この図鑑にのせた属

シダ属、オナガミジンコ属

「シダのなかま」の見分け方

頭部に吸着器がある	頭部に吸着器がない
<p>ヘルメットのような形の頭</p> <p>だいにしよっかく第2触角</p> <p>きゅうちやくき吸着器</p> <p>シダ属</p>	<p>シダ属より細長い頭</p> <p>だいにしよっかく第2触角</p> <p>きゅうちやくき吸着器はない</p> <p>オナガミジンコ属</p>

シダ属

Sida

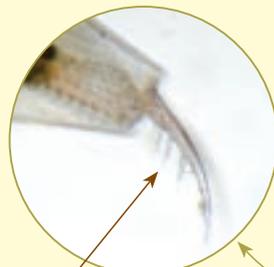
解説

シダ属には、後頭部に水草などに付着するための吸着器があるのが特徴ですが、第2触角がじゃまをして見えないこともよくあります。

シダ

Sida crystallina

メスの大きさ 約2mm



尾爪についている基刺は3~4本



オナガミジンコ属

Diaphanosoma

解説

頭がほかの「ミジンコのなかま」と比較して、とても大きいのが特徴です。体の後ろに伸びた毛がとても長いことからオナガという名前がついています。

オナガミジンコ

Diaphanosoma orientalis

メスの大きさ 0.7~0.9mm



(2)ミジンコのなかま

特徴

左右に平たい長方形や楕円形の殻をもっています。かわいらしく見える大きな複眼は2個あると思われがちですが、実際には1個しかありません。

この図鑑にのせた属

アオムキミジンコ属、ミジンコ属、オカメミジンコ属、ネコゼミジンコ属、タマミジンコ属

「ミジンコのなかま」の見分け方

吻がある		吻がない					
腹側の縁が直線的	腹側の縁が曲線	第1触角は短い	第1触角は長い				
<p>吻</p> <p>腹側の縁が直線的</p> <p>単眼</p> <p>アオムキミジンコ属</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単眼が点状</th> <th>単眼が三角、菱形</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>吻</p> <p>点状の単眼</p> <p>ミジンコ属</p> </td> <td> <p>吻</p> <p>三角・菱形の単眼</p> <p>オカメミジンコ属</p> </td> </tr> </tbody> </table>	単眼が点状	単眼が三角、菱形	<p>吻</p> <p>点状の単眼</p> <p>ミジンコ属</p>	<p>吻</p> <p>三角・菱形の単眼</p> <p>オカメミジンコ属</p>	<p>第1触角</p> <p>単眼</p> <p>ネコゼミジンコ属</p>	<p>第1触角</p> <p>複眼</p> <p>単眼はない</p> <p>タマミジンコ属</p>
単眼が点状	単眼が三角、菱形						
<p>吻</p> <p>点状の単眼</p> <p>ミジンコ属</p>	<p>吻</p> <p>三角・菱形の単眼</p> <p>オカメミジンコ属</p>						

アオムキミジンコ属

Scapholeberis

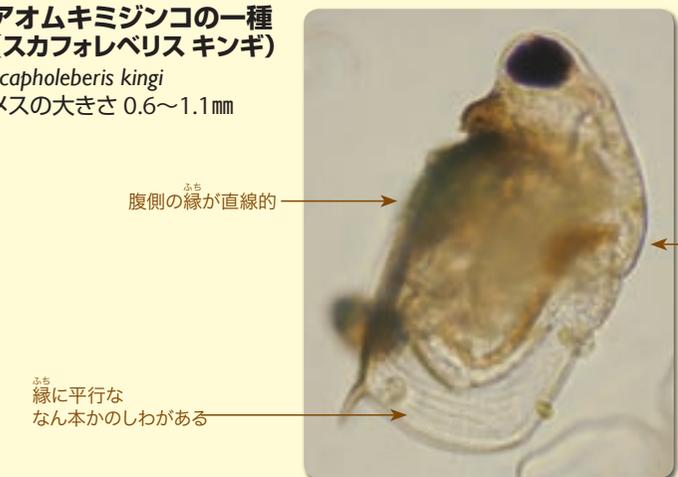
解説

名前は、腹側を上にして泳ぐ姿からつけられています。日本には2種類いるとされています。腹側の縁が直線的である点でほかのミジンコと区別することができます。

アオムキミジンコ的一种 (スカフォレベリス キンギ)

Scapholeberis kingi

メスの大きさ 0.6~1.1mm



腹側の縁が直線的

縁に平行ななん本かのしわがある

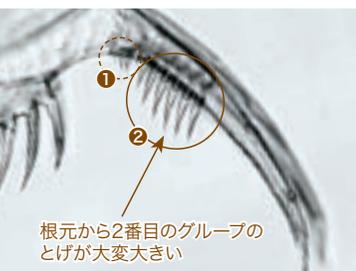
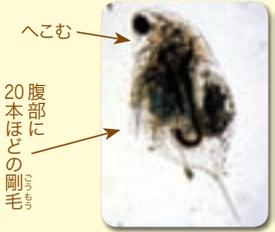
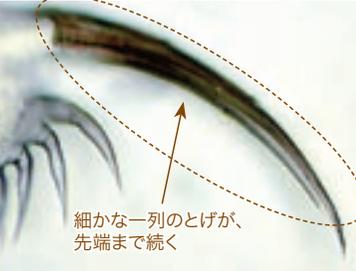
背中の曲線は、卵をもっているかどうかで変わる

ミジンコ属

Daphnia

解説 ミジンコ属には多くの種がいます。これらの多くは、同じ種なのに、ときには頭の先がとがったり殻の後ろに長い殻刺をもったりします。このように形の変化がはげしいので、属の中で種を特定することは困難です。種を特定するには、後腹部の観察が必要です。

【ミジンコ属の見分け方】

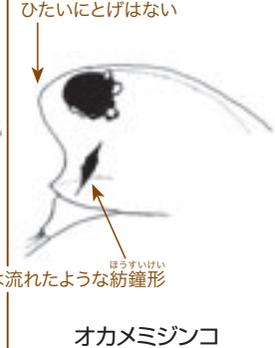
	尾爪の特徴	種類
とげはとも大きい 尾爪に大きなとげがある	 <p>根元から2番目のグループのとげが大変大きい</p> <p>ダフニア プレックス グループ (ダフニア プリカリアやダフニア オブツサ)</p>	 <p>細長い多角形の模様</p> <p>ダフニア プリカリア <i>Daphnia pulex</i> メスの大きさ 1.5~3.0mm</p>  <p>へこむ</p> <p>20本ほどの剛毛</p> <p>ダフニア オブツサ <i>Daphnia obtusa</i> メスの大きさ 1.5~2.5mm</p>
とげは細めで数が多い 尾爪に細かなとげがある	 <p>根元から2番目のグループのとげは、プレックスグループよりも数多く細い</p> <p>ダフニア シミリス</p>	 <p>あまりへこまない</p> <p>ダフニア シミリス <i>Daphnia similis</i> メスの大きさ 2.0~2.7mm</p>
とげは2組に分けられる 尾爪に細かなとげがある	 <p>2組の細いとげが、先端まで続く</p> <p>ダフニア アンビグア</p>	 <p>ふん 吻と第1触角</p> <p>ダフニア アンビグア <i>Daphnia ambigua</i> 個体の大きさ 0.7~1.0mm</p>
とげは1列に続く	 <p>細かな一列のとげが、先端まで続く</p> <p>ダフニア ガレアータ</p>	 <p>とがる</p> <p>ダフニア ガレアータ (カプトミジンコ) <i>Daphnia galeata</i> メスの大きさ 約1mm</p>

オカメミジンコ属

Simocephalus

解説 この図鑑ではほかのミジンコのなかまと区別しやすい単眼が点状でなく、菱形や三角形のもの2種を紹介します。

【それぞれ種の頭部の特徴】

 <p>ひたいに6個ほどのとげ</p> <p>トガリオカメミジンコ</p>	 <p>ひたいにとげはない</p> <p>単眼は三角形あるいは流れたような紡錘形</p> <p>オカメミジンコ</p>
--	--

トガリオカメミジンコ *Simocephalus serrulatus*
メスの大きさ 1.3~2.0mm



オカメミジンコ *Simocephalus vetulus*
メスの大きさ 1.2~1.9mm

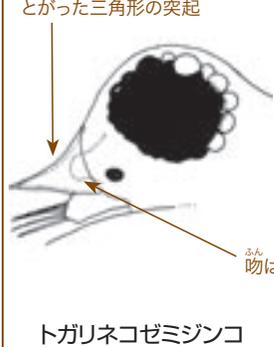
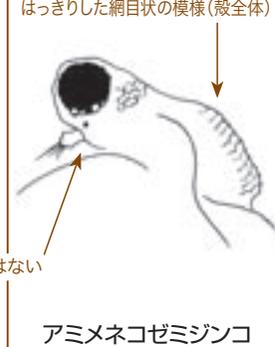


ネコゼミジンコ属

Ceriodaphnia

解説 この図鑑では特徴がはっきりしている2種を紹介します。この属は頭部がななめになっている点で、オカメミジンコに似ていますが、吻がない点で区別することができます。

【それぞれ種の頭部の特徴】

 <p>とがった三角形の突起</p> <p>トガリネコゼミジンコ</p>	 <p>はっきりした網目状の模様(殻全体)</p> <p>吻はない</p> <p>アミメネコゼミジンコ</p>
---	--

トガリネコゼミジンコ *Ceriodaphnia cornuta*
メスの大きさ 約0.5mm



アミメネコゼミジンコ *Ceriodaphnia reticulata*
メスの大きさ 0.6~0.7mm



タマミジンコ属

Moina

解説

形は卵形で、左右にも厚みがあることから名前がついています。肛刺に、二股の叉状刺があることでほかのミジンコのなかまと区別することができます。

スカシタマミジンコ

Moina micrura
メスの大きさ 0.6~0.8mm



叉状肛刺



(3)ゾウミジンコのなかま

特徴

頭が少し下向きで吻の先に長い第1触角があるので、ゾウの頭(鼻)のように見えるところから名前がついています。

この図鑑にのせた属

ゾウミジンコ属、ゾウミジンコモドキ属

「ゾウミジンコのなかま」の見分け方

ゾウミジンコのなかまは、2本の第1触角の分かれ方で区別することができます。

第1触角の根元が合わさっていない	根元が合わさり1本になっている
<p>合わさっていない</p> <p>毛はない</p> <p>ゾウミジンコ属</p>	<p>合わさっている</p> <p>毛がある</p> <p>ゾウミジンコモドキ属</p>

ゾウミジンコ属

Bosmina

解説

ゾウミジンコ属には3種いますが、もっとも数の多いのはゾウミジンコです。

ゾウミジンコ
Bosmina longirostris
メスの大きさ
約0.5mm



根元が分かれている

ゾウミジンコモドキ属

Bosminopsis

解説

ゾウミジンコモドキ属は、この1種しかいません。

ゾウミジンコモドキ
Bosminopsis deitersi
メスの大きさ
0.3~0.6mm



根元が合わさる

(4)ケブカミジンコのなかま

特徴

ケブカミジンコのなかまには5つの属が含まれています。殻の腹側に多くの毛が生えていることから名前がついています。殻の背中突起の有無や尾爪の基刺の有無、腸のねじれ方などで区別しますが、この図鑑ではケブカミジンコ属だけを紹介します。

この図鑑にのせた属

ケブカミジンコ属

ケブカミジンコ属

Macrothrix

解説

形は少しつぶれた卵形です。頭は大きく背中側に吸着器があります。吻は小さく、棒状の第1触角をよく動かします。この属は、腸がねじれず数字の3を伸ばした形になっています。

ケブカミジンコ

Macrothrix rosea
個体の大きさ
0.5~0.6mm



吸着器

腸は3の形

第1触角(よく動く)

(5)マルミジンコのなかま

特徴

体が楕円形~円形に近いためこの名前がつけられました。頭が細長いのが特徴です。「ミジンコのなかま」の中で、もっとも多くの属が含まれていますが、この図鑑ではそのうち4つの属を紹介します。

この図鑑にのせた属

ヒラタミジンコ属、シカクミジンコ属、シカクミジンコ属、マルミジンコ属

「マルミジンコのなかま」の見分け方

マルミジンコのなかまは、後腹部の形でおおまかに区別することができます。

後腹部が非常に細長い	後腹部の長さがふつうの長さ
<p>長い</p> <p>ヒラタミジンコ属</p>	<p>基刺が1本</p> <p>シカクミジンコ属</p>
	<p>基刺が2本</p> <p>体が半円~楕円形 シカクミジンコに似ている</p> <p>ヒラタミジンコ属</p>
	<p>楕円形~円形</p> <p>マルミジンコ属</p>

ヒラタミジンコ属

Camptocercus

解説

ヒラタミジンコ属には紹介する1種しかいません。

ヒラタミジンコ
Camptocercus rectirostris
個体の大きさ
0.5~0.8mm



後腹部が細長い

シカクミジンコ属

Alona

解説

体は丸みをもった四角形に近い形です。基刺は1本です。多くの種類がありますが区別は困難です。個体の大きさ 0.3~0.9mm



シカクミジンコの一つ
Alona sp.

基刺は1本